



# 日本医療機能評価機構認定病院 公立山城病院新聞 YAMASHIRO PUBLIC HOSPITAL

発行元 公立山城病院  
発行元責任者 中埜 幸治

## 年頭のご挨拶

院長 中埜 幸治



「明けましておめでとうござい  
ます」昨年も地域住民の皆様  
方より、ご利用・ご支援を頂き  
誠にありがとうございました。

昨年10月に第50回全国国保地  
域医療学会が、「悠久の都で地  
域包括医療・ケアの真髄を究め  
る」思いやりの心 京から発信  
」を主題として2日間にお  
たつて京都で開催され、全国か  
ら大勢の医療スタッフ（職員）、  
地域の市長・町長、さらに市民  
も参加しました。医療崩壊が起  
こっている各地域で、「高齢者  
社会を迎えた21世紀の医療をい  
かにして守るか」という主旨の  
演題が「開設者サミット」や「シ  
ンポジウム」で発表され活発な  
討論が行われました。それには、  
病院職員だけでなく、市町村長  
などの病院管理者と地域住民が  
地域医療を守るために共に頑張  
らなければならぬことが再確  
認されました。本会には私が副  
会長として参加しました。中井

副院長がシンポジウムで「地域  
包括医療・ケアを行うための当院  
の取り組みと地域の他医療施設  
との連携体制の構築」を、また  
多くの当院職員がそれぞれの会  
場で研究発表を行い、会場から  
高い評価を受けました。

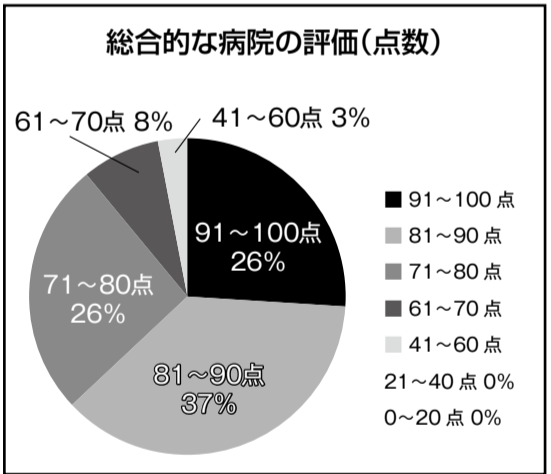
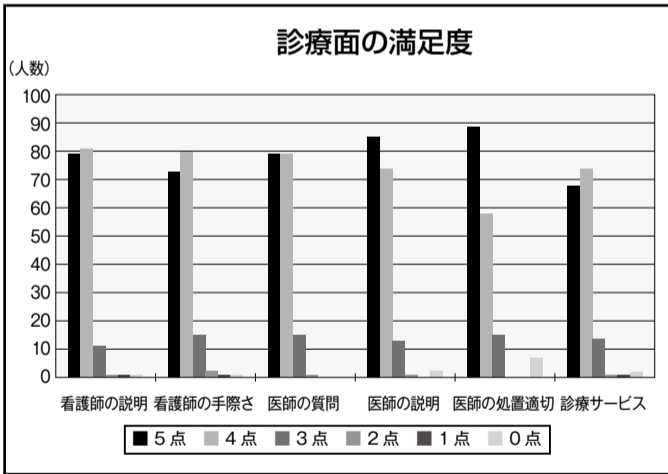
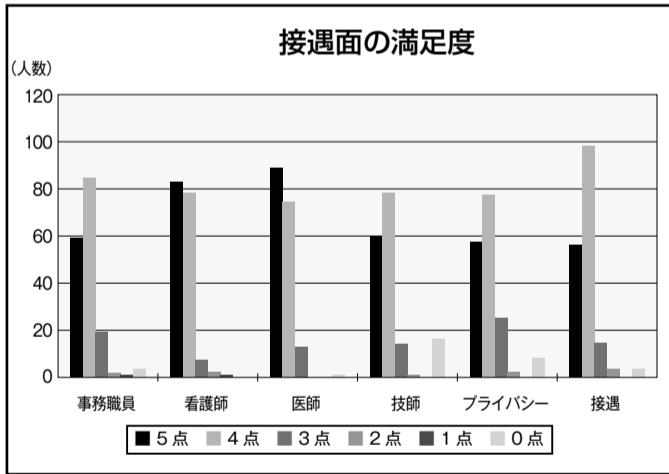
さて、総務省の「病院事業経  
営改革の総合的な取り組み」指  
示で、「当院の公立病院改革プ  
ラン」を平成21年3月策定しま  
した。すなわち、1. 当院の果  
たすべき役割・機能を明確化、  
2. 改革プランとして「経営効  
率化」、「再編ネットワーク化」、  
「経営形態の見直し」を柱とし  
た公立病院経営の見直しを行  
い、3カ年間の具体的な計画書  
を作り、実行することです。今  
年平成23年は、この改革プラン  
施行の最後の年になります。

「改革プラン」が実行できる  
ように、われわれ病院職員と施  
設管理者および地域住民の皆様  
との連携、さらに地域医師会、  
他医療施設とも連携して「地域  
の包括医療・ケア」を死守し、  
明るい、生きがいのある21世紀  
の地域医療を構築しましょう。  
皆様の地域医療に対するご理  
解、ご協力を節にお願い致しま  
す。



## ◆◆◆◆ 入院患者さまの満足度アンケートの結果 ◆◆◆◆

毎年、年2回実施している入院患者さまへの満足度アンケートの結果です。  
10月に実施して、約180名の方々にご協力いただき本当にありがとうございました。  
皆さまから頂いた様々なご意見をもとに、職員の技術・接遇の向上に努めるとともに、入院設備・環境を整え、地域の中核病院  
として皆さまに選んでいただけるようこれからも務めていきます。



## ●●● 薬剤部紹介 ●●●

当院薬剤部では、薬剤師9名、薬剤助手1名の体制で、患者さまにより良い医療を提供するために日々研鑽しています。

業務内容としては、主に入院の患者さまを対象に、内服薬や注射薬の調剤、服薬指導業務を行っています。調剤では医師の発行する処方せんの内容について、服用量・服用方法・飲み合わせ等をチェックし、正確な調剤を行っています。注射薬に関しても同様にチェックを行っています。また抗がん剤などの注射薬は、無菌的に混合調製(写真)を行っています。

服薬指導業務では、患者さまのベッドサイドで、お薬の効き目・使い方等について説明しています。また、入院時に持参された薬の確認も行っていきます。持参薬の情報を把握することは、薬の重複等を避けることにつながります。正確な情報を得るために、薬の説明書やお薬手帳も合わせてご持参ください。



その他にも、薬剤師の専門性を生かして、感染対策チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチームなど様々な医療チームに参加し、医師、看護師や多くの医療スタッフと連携をはかり、患者さまのお薬に関するケアに関わっています。

また、今年から年に数人ですが、薬学部学生実習生を受け入れています。実習中は薬剤師と共に行動し、現場の雰囲気や学んでもらいながら、実践的な実習を行い、薬剤師の育成に取り組んでいます。

最後に、外来患者さまの薬の相談も随時お受けしていますので、お気軽に薬剤部の窓口で声をおかけください。



# 第9回 生活習慣病フォーラムを 開催しました

第9回生活習慣病フォーラムがさる10月23日(土)に山城病院で開催されました。今年のテーマは「健康寿命を維持するために動脈硬化予防と健康ライフ」でした。地域の方々を中心に、健康及び生活習慣病に関心のある方59名の参加を頂きました。まず、院長より「動脈硬化予防と健康ライフ」について講演が行なわれました。その後、理学療法士による運動の必要性や有効な運動についての講演を行い、みんなで参加型の運動療法を実践しました。地域におなじみの歌をモチーフに替え歌にしました。健康クイズコーナーでは、全員がクイズに真剣に取り組み、生活習慣病予防について意識づけられたのではないのでしょうか。また、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士による相談コーナー、身長、体重、内臓脂肪、体脂肪、血圧、血糖の測定、頸動脈エコー検査を実施しました。ほとんどの参加者の皆さまが測定を行い、健康について考える機会となりました。今後も



地域の皆さま方々の生活習慣病の予防につながるフォーラムにしていきたいと考えております。御記入いただいたアンケート結果をもとになお一層このフォーラムが地域に密着したものになりますよう努力していきたいと考えております。

生活習慣病フォーラム委員一同



# 職場体験

『未来を託す』

10月29日、元気な中学生が今年も一日職業体験に來られました。今回、一日職業体験をされたのは、木津川市立木津中学校2年生、5名の皆さんです。地域の中学校では、職場体験学習を毎年実施し、若者のキャリア教育に取り組んでおられます。

山城病院では、病院内で働く様々な職種の紹介や職場体験をして頂きました。病院で働く人について、中学生が感じた職業体験感想文の一部を抜粋してご紹介いたします。

『この体験をするまでは、病院は看護師さんと先生だけと思っていました。でも、実際に体験に行かせてもらうと病院には、防災センターや手術に使った器具を洗う仕事、薬局、リハビリステーションのリハビリの先生、たくさんの方が協力していることを知りました。働かれている人全員が感じが良くて、すごいなと思います。私はこの体験を通じて、リハビリの理学療法士さんの仕事に興味を持ちました。体験に行かせてもらうまで、この仕事は知らなかったです。体の不自由な人が歩けるようになったりするためのお手伝いをする仕事は、すごくステキな仕事だと思いました。私もそんなことができたらいいなと思います。』

職場体験された中学生の皆さんは、病院での体験を通じて、職業選択の幅が広がり、将来の夢を一つ見つけられたようです。

今後も山城病院では未来を託す健全な若者の育成を応援させていただきます。

看護部



# 褥瘡研修

11月25日に褥瘡対策委員会の一環として「車いすの選び方と工夫について」くちよつとの工夫で褥瘡予防」というタイトルで当院看護師や周辺施設の介護士・看護師を対象とした研修会を開催しました。

褥瘡とはいわゆる「床ずれ」のことです。床ずれができる痛みが生じたり、処置が必要になってしまったりとQOL(生活の質)を低下させてしまうこととなります。

理学療法士としての知識を生かし、車いすの種類や特徴についての説明や正しいすわり姿勢についての講義を、実際に車いすを使用し実技を交えながら行いました。また、身近にあるバスタオルやクッションを一工夫して使用するだけで、褥瘡予防に繋がる方法などを紹介しました。

車いす利用者にとって車いすに座っていることが苦痛になってしまうと、外出する意欲を失ったり、寝食共にベッドでの生活になってしまうなど、最終的には寝たきりに繋がってしまい、悪循環が起きます。

今回の研修をきっかけに周辺地域の車いす利用者様が褥瘡を作らず、快適な車いす生活を送っていただけたらと思っています。

褥瘡対策委員会理学療法士 松田 萌菜桃



# 「災害時に地域医療を守るために」

10月28日(木)、JR木津駅前広場にて災害訓練を実施いたしました。訓練当日はあいにくの雨でしたが、今年は、相楽医師会・相楽中部消防・精華町消防・木津川市役所・京都府木津警察署にもご協力をいただき、参加者は約80名となりました。

今回の訓練は、

- ◆ 発災時初動活動を円滑に迅速に行うこと、
  - ◆ 地域の関係機関と「顔の見える関係」を構築すること
- を目的とし、東南海・南海地震を想定して行いました。

終了後、相楽医師会長の藤木先生から「近隣病院や府の災害対策本部との連携、相楽医師会がどのように参加していけばよいか、今後の課題が見つかった。訓練をさらに重ねる必要がある。」との意見を頂戴し



## ～JR木津駅前広場で災害訓練～

ました。職員にとつたアンケートには「いろいろなる事態を想定した訓練でよかった。」



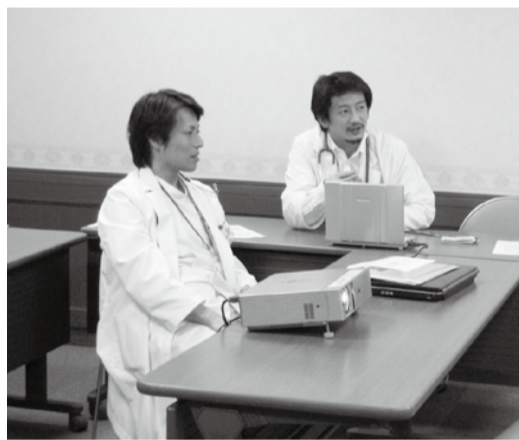
「今後の課題が見え、訓練を行ったことで問題点が改善されるとよい。」などの意見がありました。公立山城病院は、地域の災害拠点病院として、今後も定期的に訓練を重ねることにより、不測の事態が生じた場合も地域住民の皆さまに信頼と安心を与える医療を提供していきたいと考えております。

災害対策委員 小山 真由子



# 救急症例検討会を開催しています

山城病院の救急部は月におよそ1000人の救急患者さんを受け入れております。その内100人ぐらゐが救急車で搬入される患者さんです。救急搬入される患者さんがいつも重症というわけではありませんが、1000人の患者さんの中には、珍しい病気の人や、いろいろな理由で診断が難しい人もいます。今後の医療に反映させるために、そのような症例を院内で再検討することが重要であると考えます。



救急部では2年前から毎月1回、最終の月曜日午後5時から、9階の病診連携室で救急症例検討会を開催しています。その月の救急症例のうち数例を選び、各科の枠を超えた形式で話し合いを行います。各病棟・医局には、1週間ぐらゐ前に症例の提示を行うようにしていますので、特に興味深い症例の時は、たくさん職員が集まり、議論が白熱することもあります。検討会では主に若手医師が発表者となり、若い先生の発表慣れの場にもなっていますので、興味のある医療関係者の方は、気軽に参加頂ければと考えます。

小児外科・救急部長 今津 正史



# 院内研究発表会

12月4日(土) 院内研究発表会が行われ、今年度は医師、研修医、看護部、コメディカル部門合わせて17部署の発表がありました。休日にも関らず参加者も年々増加し、116名の参加がありました。



各部門それぞれの専門性を発揮した発表が盛りだくさんで毎年興味深く楽しみにしています。企画運営させていただき感謝しております。病院職員全体がこのような場を通じてそれぞれの部門の知識や技術について学習し、問題共有出来ることはチーム医療を充実していくために必要な事だと思っております。私たち医療従事者は自分の部署のことだけに限らず様々な知識をもつことで、より質の高い医療をスピーディーに患者さまに提供できるのではないかと考えます。

看護研究委員会 兼澤 直子



12月4日(土) 院内研究発表会 当院9階会議室

☆11月29日(月)午後5時から、9階病診連携室にて開催しました。

### 【症例】

◆ 診断に苦慮した大動脈解離の一例

内科 和田 誠先生(写真右側)

◆ イソプロテレノール持続吸入療法により挿管を回避し得た細気管支炎の一乳児例

小児科 若泉 克次先生(写真左側)

# 地域住民フォーラムが開催されました

12月9日午後3時より当院会議室において第7回地域住民フォーラムが開催されました。

今回のメインテーマは、「地域で考える病気の予防」で、基調講演「糖尿病とがん」、パートI「地域で考える検診と健康推進」、パートII「気軽にたずねてみよう、こんな時どうすれば」というプログラムに沿って進行されました。以下、簡単にその内容を紹介します。

**中笠幸治院長による基調講演**では、動脈硬化とがんが日本人の死因の大部分を占めること、糖尿病は動脈硬化の主要な原因であるばかりかがんの合併も多いこと、それゆえ糖尿病とがんの検診による早期発見が重要であることが示されました。

**パートIの木津川市役所による「木津川市がん検診の現状と課題」**では、木津川市は京都府下において検診受診率が高い地域のひとつであるが、それでも国の目標である50%にはほど遠く、今後さらに受診率を高めていくことが大切であることが示されました。

**当院健診センター**による「公立山城病院における健診の状況」では、人間ドック受診状況の報告の後、医師不足などにより受け入れ人数が制限される実情、待ち時間の改善や精度の向上



など今後に向けた目標が示されました。

**山城南保健所長**による「地域・職域を含めた健康づくりの推進」では、学校保健・産業保健との連携や、健康づくり推進のための各種イベントが紹介されました。



**相楽医師会会長**による「特定健診・特定保健指導の受診状況について」では、いわゆるメタボ検診の受診状況が国の5カ年計画の目標を下回っていること、検診項目が少ないので木津川市と交渉し、項目を増やしてもらったことなどが話されました。

休憩をはさんだパートIIは、参加された住民の質問にパネラーが答えるという形で進行されました。「検診については通知時期、効果、がんの発見率など」「山城病院内の禁煙について」「平日午後からの受診について」など多くの多数の質問がありました。パネラーからは、糖尿病、高血圧の人の半分以上が医療機関を定期的に受診していない、逆に普段定期的に医療機関を受診している人が必要のない検診を受けている、などの指摘がありました。

今回は残念ながら参加者が少なかったのですが、より多くの住民の方に参加していただけるよう、テーマ設定、広報を含めて、検討していきたいと思っております。

## クリスマス会 コンサート

12月16日(木)に、クリスマス会が開催されました。看護師長達による元気なハンドベルの演奏に患者さまから、盛大な拍手をいただきました。患者さまだけでなく私達スタッフも癒されました。ご協力いただきましたましたボランティアの皆さんにお礼申し上げます。



## 木津中学 進路学習 「ワクワクセミナー」

木津中学の進路学習の一環としたワクワクセミナーに講師として参加しました。対象はまだ就職について考えることもない中学一年生ということでの紹介してよいか戸惑いましたが、30人ほどの生徒が話を聞きにあつまり、看護師という職業について話をさせていただきました。堅苦しい説明しかできなかったのですが、自分の今までの歩みをベースにしつつ中学生から看護師になるまでに必要なことや、看護師になってから困ったこと、つらかったこと、うれしかったことややりがいなど、今までの私、今の私が感じたことを話しました。私が中学生のころ看護師という職業を詳しく知る機会がなかったのだからこれに機に看護師について興味を持ち、将来やってみたいと思ってもらえれば幸いです。

6階病棟 林 恭平



### 第3駐車場のご案内

第3駐車場が平成22年9月1日から一部有料になりました。

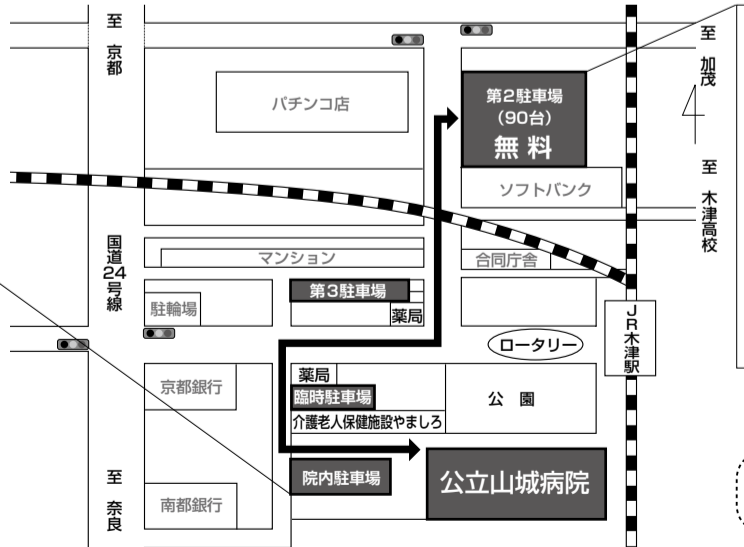
	外来診察の方	外来診察以外の方(面会の方含む)
料金	無料	最初の60分無料以降30分毎200円
ご利用手順	⑤番窓口で精算時に駐車券を出してください(午後5時以降は時間外救急受付に駐車券を出してください)	出口ゲートで精算ください

第2駐車場(無料)をご利用ください

第2駐車場から病院まで送迎車を運行します。

運行時間 平日午前7時30分～午後3時まで

利用制限時間 平日正午までは、妊婦、身体障害者、高齢者等の方のご利用にさせていただきます。



利用可能時間 平日午前7時30分～午後7時まで ※上記時間以外及び土日祝日は完全閉鎖となりますので、お車の出入りは一切できません。

送迎車運行経路